

キャラクター名
 鐘離 円華 (オワリ マドカ)

プレイヤー名

シンドローム	バロール サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプション		年齢		性別	
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	仲間の死	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	10
精神	3	1	3	1		8	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 面影島	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
コピ+氷	RC	8r+8				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
ナイチンゲール	P 同情	N 脅威		
角川いろは	P 信頼	N 悔悟		
玉野椿	P 誠意	N 殺意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンソレイト: サラマンダー	2	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果:	c値(下限7)							
バーニングハート	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	HPダメージを受けた直後暴走 攻撃+「Lv*2」							
絶対零度	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	暴走時精神判定ダイス+「Lv+1」個 浸食ボナ×							
炎陣	1	2	オート	視界	参照	自動	-	
効果:	カバリング							
氷の塔	5	4	Xジャー	視界	範囲	対決	-	
効果:	攻撃力+[Lv*3]、同エン不可							
空間圧縮	1	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の戦闘移動							
氷炎の乱舞	5	4	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果:	攻撃+「Lv*3」 判定ダイス-2							
魔王の玉座	★							
効果:								
氷の理	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「・・・もし貴方の元に戻る事ができたなら、この力をもう疎ましく思わずに済むのだろうか」
 「だけどもうあなたの聲すら、うまく思い出せないでいる」
 引っ込み思案の内気な少女。任務をこなすときは思うものの、戦いを好まない性格が災いしてあまり活躍はできていない。幼少からUGNチルドレンに在籍。能力と性格が噛み合わず悩んでいた所を同期のチルドレンに救われた。やや強引に引っ張り回す友人に巻き込まれながら過ごす普通じゃない日常が何より大切な場所だった。だが3年前にFHEージェント「ナイチンゲール」が絡む任務に参加し友人の喪失を引き換えに「Dロイス:対抗種」の力に目覚める。・・・最後になんて言われたか思い出せない。それどころか任務そのものがうまく思い出せない。後から記録を見て実感すらない。・・・確かに、大切な人だったはずなのに思い出したくないとすら思ってしまう。自問自答するうちに人を護ることすら避けるようになってしまったが因縁があるらしい相手の調査をすることになり過去を清算しないとイケないという使命感から事件に望む

「ハートレスメモリー」5話踏破後
 この島に来てよかった。あの島で失ったものはとても多かったけど、得たものもまた多かったから。自分の手をそっと胸にあてる。自らすら破壊する化け物の力も思い通りにならない心も、あの島を訪れるまでは疎ましかったけど。これからも私はこれを抱えて生きていく。時に人に頼りながら、時に我儘を言いながら。休む間もなく与えられた任務。私は見知らぬ土地の支部の前にいた。・・・いろは、れいと君、アリス君・・・芽心、君。皆の顔を思い浮かべて目の前の扉をにらみつける。新しい一歩を踏み出した彼女を後押しするように